

(別紙4(2))

事業所名 グループホーム じゅらくだい

目標達成計画書

作成日: 平成 23 年 12 月 26 日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	自己番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1		緊急時の避難体制の確立。	夜間帯の職員体制で、利用者を安全に避難していくための避難誘導のマニュアル化と実施訓練の充実を図る。	非常災害時の地域住民の協力は、不可欠であるので日常的に住民との相互協力体制を図り、利用者の安全を目指していく。 2か月に1回の避難訓練を実施し、夜間帯の誘導方法を徹底していく。	12ヶ月
2		職員の質の向上と質の確保を目指していく。	職員間の「介護技術の差」をなくし、だれがサービスを提供しても、同じサービスが受けられる体制を築いていく。	外部・内部の研修会に職員が交代で参加し、職員間の技術力の均一化を図り、利用者に提供するサービスが、公平で満足出来るものにしていく。 介護技術に関する内部の勉強会は定期的実施していく。	12ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。